二〇二三年度　倉敷芸術科学大学　一般選抜

前期A

〔国語〕

一、

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七
a 収蔵	A カ	U ウ	津波から村民を守る防潮堤建設を決意した和村村長が、国や県に働きかけ、県費による着工を勝ち得て、技師と一緒に考えて対策にあたったこと、さらに人口変化に応じて、新たに津波対策を行ったこと、水門・防波堤の高さでは妥協しなかったこと。	あ 水門の建設 い 防波堤設置	① 費用も巨大になり、他の対策が疎かになる。 ② 今までの津波ならそれほど大きい防波堤は不要だ。	和村
b 惨状	B ア	V ア				
c 奔走	C イ	W イ				
d 陳情	D ウ	X ウ				
e 堆積	E エ	Y ア				
f 顕彰	イ					

二、

問一	問二	問三	問四	問五	問六
a みにく	A ウ	天才	嘘	詩とは美しい言葉で嘘をつくことである。	感情が心に惹き起す違和感から、ただちに前に述べた違和感のうちの適当なものを思い出し、それを惹き起したり名前をつけ、処理してしまうこと。
b ふへんてき	B イ				言葉を思い出し、その言葉によって目前の感情にあっさ
c れんまく	C ア				
d ちゅうちょ					
e つぶや					

受験地	受験番号	得点欄
		※

※は記入しないこと